

家畜市場 価格の推移

(8月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重	
スモール	雌	12	12	100.0%	273,240	96,120	218,160	61
	雄	173	163	94.2%	190,080	10,800	135,905	64
計	185	175	94.6%	273,240	10,800	141,241	64	
F1	雌	247	239	96.8%	334,800	22,680	253,078	65
	雄	232	222	95.7%	427,680	42,120	307,186	69
計	479	461	96.2%	427,680	22,680	279,285	67	
ホルス(5才) 雌	39	39	100.0%	435,240	55,080	221,123	729	

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
南北海道	3日	77	71	92.2%	1,055,160	333,720	813,559
豊富	17日	289	229	79.2%	1,034,640	650,160	874,347
釧路	22日	221	187	84.6%	1,274,400	639,360	931,896
根室	23日	419	381	90.9%	1,352,160	456,840	955,451
十勝	29日	765	646	84.4%	1,384,560	520,560	947,332
北見	30日	310	269	86.8%	1,192,320	582,120	915,900
		2,081	1,783	85.7%	1,384,560	333,720	906,414

業務報告 (8月分)

- 1日 第二回酪農ヘルパー事業円滑化推進委員会
- 2日 山陽乳業(株)監査役会
- 3日 三次市酪農振興会監査・役員会
- 3日 第一回生産基盤強化対策委員会
- MILK JAPAN企画運営会議
- 北海道・都府県畜産主任者会議(四日迄)
- 6日 全酪連酪農生産研究会渡米説明会
- 7日 酪農現役従事功労者表彰巡回表彰
- 8日 酪農任意組織団体代表者会議
- 9日 中国生乳販連理事會・生乳受託販売委員会
- 10日 豪雨災害支援対策説明会
- 10日 広酪ホルスタイン改良同志会役員会
- 13日 広島県農協農政協議会他
- 14日 西部地域酪農団体連絡協議会総会
- 14日 乳代精算システムあり方検討会
- 21日 広島県乳業協会上期ブロック会議
- 21日 福山共進会巡回審査
- 22日 飼料用稲オペレーター研修
- 22日 三次市酪農振興会総会
- 23日 上下共進会巡回審査
- 23日 酪農ヘルパー調整会議
- 24日 山陽乳業(株)取締役会
- ひろらく女性グループ連絡協議会委員会
- (二社) 広島県家畜畜産物衛生指導協会推進会議
- 28日 庄原農協畜産共進会
- 28日 あきたかた酪農振興会納涼会
- 29日 広島県等との畜産クラスター事業に係る協議
- 29日 河井克行ゆめづくりフォーラム
- 30日 グリーンウインズさとやま取締役会
- 30日 生乳の安全・安心中国地域協議会
- 31日 広酪ホルスタイン改良同志会役員会
- 三次市ホルスタイン共進会巡回審査

編集後記



去る九月六日午前三時八分ごろ、北海道胆振地方中東部で震度六強の地震が発生。その規模はマグニチュード六・七、深さは二十七キロ(いずれも暫定値)で北海道では観測史上最大規模で、この地震は「平成三十年北海道胆振東部地震」と名付けられました。奇しくも西日本豪雨から丁度二カ月後の発生でもあります。

この地震は、北海道全域の電気供給が停止するなどライフライン全ての機能の喪失から道内の酪農家や乳業者等の関連業界にも甚大な被害が及び、土砂崩れなどによる家屋の倒壊によって多くの人が犠牲になりました。

被害に遭われました方々に対して、衷心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。

「天災は忘れた頃にやってくる」との諺があり、この意は、自然災害はその被害を忘れたときに再び起こるものだということの戒めで、人々にいわば注意せよと言っていることを喚起しているものと考えます。

しかし、現世において天災は忘れた頃にやってくるに何時も襲いかかっている感はありません。

先の地震で、標茶町で百四十頭を搾乳する酪農家がニュースで、停電から搾乳ロボットが動かず乳房炎による複数頭の死亡や、ある農場では一日約四十トンの生乳廃棄が生じる実態をせきさららに報じました。

広酪では、今年七月の西日本豪雨の影響回避にあたり、東部管内の酪農家からの生乳出荷日量約四十トンにつき、三次CSの活用から緊急措置として集乳と送乳に備えましたが、改めて、北海道の甚大な被害には驚嘆させられます。

▼ 昨今、全国の年間生乳生産量約

市町別生乳受託量の進捗状況(8月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	30年度累計	前年比(累計)
庄原市	838.4	22.3%	97.2%	4,281.7	94.8%
三次市	625.1	16.6%	97.3%	3,198.9	93.1%
世羅町	619.4	16.5%	101.3%	3,052.2	101.3%
北広島町	470.0	12.5%	101.8%	2,404.3	100.5%
安芸高田市	326.2	8.7%	89.3%	1,646.6	84.1%
東広島市	315.9	8.4%	101.2%	1,659.9	102.6%
府中市	214.7	5.7%	104.5%	1,081.0	100.1%
福山市	116.6	3.1%	95.6%	618.3	92.0%
三原市	82.3	2.2%	99.9%	405.2	99.8%
広島市	73.7	2.0%	90.5%	397.7	97.8%
呉市	52.1	1.4%	94.9%	257.1	95.1%
神石高原町	20.2	0.5%	95.9%	109.6	83.1%
合計	3,754.4	100.0%	98.2%	19,112.4	96.1%

※公共機関からの生乳受託数量は除く。

プール乳価(8月分)

プール乳価	110.1864円
前月分プール乳価	110.9431円
前月対比	99.3%

生乳生産量など前年同期比較(8月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	58戸	46.0%	218,862.3
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	68戸	54.0%	-240,645.9
合計	126戸	100.0%	-21,783.6

注)この比較は、平成30年8月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。(廃業組合員は含まない)

生乳受託実績(8月)

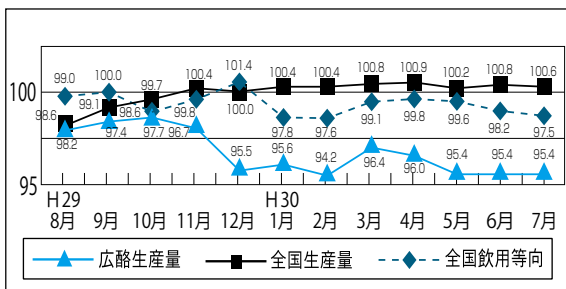
地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	39	11	38	38	126
生乳出荷量(トン)	1,295.2	368.0	869.9	1,221.4	3,754.4
前年同月対比(%)	95.7%	100.3%	95.8%	102.3%	98.2%
前月対比(%)	100.9%	101.8%	98.5%	101.1%	100.5%
生乳出荷累計(トン)	6,649.3	1,917.0	4,448.6	6,097.5	19,112.4
広酪構成比(%)	34.8%	10.0%	23.3%	31.9%	100.0%

※公共機関からの生乳受託数量は除く。

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(7月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	43,288	840	29.8%	51.53円
2	三次市	33,225	607	22.9%	54.74円
3	安芸高田市	17,358	325	11.9%	53.41円
4	府中市	14,513	214	10.0%	67.82円
5	北広島町	11,426	479	7.9%	23.85円
6	世羅町	7,137	612	4.9%	11.66円
7	福山市	6,671	115	4.6%	58.01円
8	三原市	4,742	82	3.3%	57.83円
9	東広島市	4,668	316	3.2%	14.77円
10	神石高原町	1,447	22	1.0%	65.77円
11	広島市	426	79	0.3%	5.39円
12	呉市	331	53	0.2%	6.25円
	合計	151,573	3,774	100.0%	40.16円

生乳需給の前年比推移(7月) (単位:%)



(A・N)

七百二十万トンの内、北海道が五十三%、都府県が四十七%を占めています。

▼生乳生産量の需給バランスにおいて、生乳不足にあり生乳生産基盤の回復に向けて畜産クラスターや酪農事業、乳業者からの浄財をもってJミルクが行う独自の施策などの他、各単位専門農協独自の対策をもつてもなお、生乳生産基盤の目に見える回復とはいえない状況が続いています。

▼今回の地震と云う自然災害からも、野菜など農産物を含めて生乳生産もある地域に一極集中すれば解決するということにはならないものであることを考えさせられます。

▼現在、平成三十一年度乳価交渉の協議が始まっておりますが、家族労働主体の酪農経営が存続するような乳価(例えば百五十円/kg)をもって、全国に酪農家が存立する姿を再興することの国策も交えて実行する政治こそが求められるのでは無いでしょうか。

▼日本酪農政治連盟では、来る十一月十四日に全国酪農代表者集會が予定され、この会では家族労働で営む酪農家に焦点をあて、ここで十分な生活と後継者就農への道筋を確かなものにする施策実現を求めて運動を展開する運びのようであり、広島県酪農政治連盟もこの運動に歩調を合わせて行動する予定です。

▼何れにしても、昨今、自然災害はその発生頻度を高めて襲いかかっています。現在、NOSA-広島では来年一月から始まる収入保険の加入申請受付を始めていますが、今回の自然災害など発生からライフラインが閉ざされ、生乳廃棄に至った場合、それも数日間と長期に亘った場合の経営打撃は甚大になるものと想定されますので、加入を一度考えてみては如何でしょうか。